



<今月のご案内>

黒松内版 森林療法体験会

おさんぽの会



歌才森林公園のコース(往復約3キロ)を、季節の自然を楽しみながらゆったりとウォーキングします。自然を五感で楽しみながら、心も体もリフレッシュしましょう！ (雨天中止・小雨決行)

【日 程】 9月14日(日)

【時 間】 10:00~12:00(目安です)

【集 合】 黒松内温泉ぶなの森 左側集合。

【持ち物】 ウォーキングしやすい服装、靴、帽子、飲み物、虫よけ など

【申込み】 不要

町民の皆さんの声を聞きたい

ヒグマ*カフェ



今年もヒグマのニュースが相次ぎ、町内でも目撃や痕跡が報告されています。最近のヒグマ事情で皆さんが気になっていること、知りたいことなどを気軽に語り合ってみませんか？お茶とお菓子をご用意しています。ふだん森へ行く人、畑へ行く人、関心のある方などでも。

【日 程】 9月28日(日) 16:00~17:30

【会 場】 ブナセンター

【対 象】 大人向け

【申込み】 不要

【持ち物】 特になし



ブナ里学習で アユ釣り名人にインタビューをしました！

ブナセンターでは、町内小中学校の「総合的な学習」をサポートしています。「水の循環」がテーマの黒小5年生の授業で、朱太川漁協さんにご協力頂き、インタビューとアユの友釣りを実際に見学しました。朱太川の「アユの魅力」を通して、森・川・海のつながりや、そのつながりが人にもたらす恵みについて知ることができました。

Q. 朱太川のアユはどうしておいしいの？

A. アユの餌であるコケ(藻類)の香りがとてもよいからです。ブナ林がはぐくんだ朱太川で育ったアユは、ほかの川のアユよりも体が大きく、香りがよいのが特徴です。

Q. いつごろがよく釣れるの？

A. 7~8月がよく釣れます。お盆頃に釣れるアユは脂がのって美味！(アユ釣りができるのは毎年7月1日~9月15日)

Q. 浅いところでも釣れるの？

A. 浅いところでも釣れなくはないですが、やや深いところの方が釣れます。アユは浅瀬の石よりも、やや深い川底の大きな石についたコケ(藻類)を食べ、その石のまわりに縄張りを作ります。そこにおとりのアユを泳がせて攻撃させることで、アユを釣ります。これを「友釣り」といいます。

Q. おすすめの食べ方は？

A. 塩焼き、天ぷら、アユ飯など。刺身は贅沢けどうまい！

Q. ルアーでも釣れるの？

A. 本州はルアーで釣れる川もありますが、朱太川ではルアーは禁止。「友釣り」のみです。生きたアユを使う分、難しくて面白いです。

Q. アユ釣りで大変なことは？

A. アユがいる場所を見極めること。



アユの友釣り見学の様子(7/17)

アユは秋に生まれてすぐ海へ下り、5~6月に川へ帰ってきます

Facebook



発行所：黒松内町ブナセンター
〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1
TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440
MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>
FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>

ブナセンター 夏休みの イベント 報告

この夏休み、ブナセンターでは以下の特別企画を実施しました。

- 8/2 フライフィッシング塾（中学生～大人対象）
- 8/7 鉄くぎからマイナイフづくり（小学4～6年対象）
- 8/10・15 貝化石たんさく隊（小学生対象）
- 8/17 ヤツメウナギはかせに聞いてみよう（小学生対象）
- 8/17 ヤツメウナギを知ろう（中学生～大人対象）

今月号では、その中から「フライフィッシング塾」と「貝化石たんさく隊」について報告します。

なお、今年度のブナセンター賞(町の生物多様性に寄与する研究への助成)を受賞された三枝弘典さん(北海道大学)を講師にお招きした「ヤツメウナギ」の講座については次号にて報告する予定です。

フライフィッシング塾

町内在住の釣り名人・畑井信男さんとバンブーロッド(竿)作りの達人・村田孝二郎さんを講師にお招きしました。

最初に熱帯川の河原で村田さんの美しいフライフィッシングの技を見学したあと、ブナセンターでフライ(毛ばりのこと。魚を釣るための、主に川虫を模した疑似餌)を作る「タイイング」や釣り糸を遠くまで飛ばす「キャスティング」のやり方を教わりました。

参加者は町内外から集まった5名。熟達の名手からマンツーマンで教えを受け、黒松内の川の魅力やフライフィッシングの奥深さを学んでいました。



↑材料は動物の毛や鳥の羽



↑完成したフライ



←キャスティングの練習

貝化石たんさく隊

町内小学生向けに8月10日(日) & 15日(金)の2回「貝化石たんさく隊」を開催。添別川の貝化石床で実際に貝化石を採取し、ブナセンターの化石ボランティアの亀水さんにお手伝いしていただきながら、採取した貝化石の種名をしらべました。



アラスカシラオガイ

三角形で、ふくれた横のすじが特徴。

今年ブナセンターでは、館内にひとつしか標本がない、不完全な標本しかないなどの「探してほしい貝化石」をリストにして公表しました。するとなんと！

今回のイベントに参加してくれた子が、早速リスト中の「アラスカシラオガイ」の化石を見つけてくれました！今回発見された化石は、館内に展示する予定です。

まだまだ「探してほしい貝化石」はありますので、皆さんも見つけたらぜひご報告をお願いします！

